

群馬大学国際戦略基本方針

令和6年2月7日

役員会決定

群馬大学は、教育研究活動の国際展開により、地球規模での、持続可能な社会の構築、プラネタリーヘルスの実現を目的として、教職員が協働し、更に学生の参画により新たな時代を共創できる体制の構築に向け、国際戦略基本方針を定める。

1. 教育の国際化

自らのアイデンティティを持ちながら、多様な文化や価値観を理解、共感、尊重し、地域社会・世界の課題解決に貢献できるグローバル人材を育成する。

○海外の大学等と戦略的なパートナーシップを構築し、国際協働教育プログラムを開発・拡充するとともに、世界を舞台とする社会貢献やキャリアデザインにつながる海外派遣の拡充を進め、学生の国際性を涵養する。

○外国人留学生の受入を拡充し、グローバルな学生交流の機会を提供する「世界に開かれた大学」に向けたカリキュラムの整備及び留学生支援体制の拡充を進める。

2. 研究の国際化

国際水準のもとで研究機能を強化し、海外交流拠点としてのネットワーク整備を進め、グローバル社会に資する先端研究を推進することで、世界が直面している問題解決や世界の安定的発展に寄与する。

○世界トップレベルの海外研究機関等と国際共同研究を推進し、世界に展開できる研究活動を強化するための研究支援体制を整備し、研究機能の国際性を高める。

○強みを持つ研究分野において研究者の国際頭脳循環の中核を担い、日本と世界をつなぐグローバルハブ機能を強化する。

3. 国際化のための環境整備

地域の行政や社会等の国際化へのニーズに応え、地域に根ざした国際化を進めながら、大学における教育および研究の国際化を効果的に進めるための環境を整備する。

○世界に教育研究成果を発信し、群馬大学の魅力とブランド力を磨く取組の推進・展開を図る。

○キャンパスにおける多文化共生・共創を促進し、「キャンパスの国際化」を強化する。

○地域の中核機関として、地域のグローバル化を牽引する。